

# Green Brave

## #52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2025年3月23日(日)

BRIDGESTONE

SuperTaikyū

Japanese Endurance Race

ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦 Race2  
もてぎスーパー耐久 4Hours Race (4時間レース) モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

### ■最後尾から9台抜きを見せ、逆転優勝を達成■

Race2 決勝結果 (ST-Zクラス)

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

(山崎 学 / 吉田広樹 / 服部尚貴 / 野中誠太)

決勝: 1位 (115周、4時間02分14秒468)

予選: 不通過 (4分14秒168) ※出走嘆願書受理で最後尾スタート



前日に引き続き行われたスーパー耐久第1戦もてぎのRace2。Race1で車体後部を損傷したGR Supra GT4 EVO2の修復は遅くまで行われ、元通りに修復済みです。Aドライバーの予選は8時50分から行われ、山崎選手がコースイン。すぐに赤旗中断となり、残り13分で再開されます。山崎選手は4周目に前日のタイムを上回る1分59秒476をマーク。トップで予選を終えました。続くBドライバーの予選は9時45分から行われ、吉田選手が3周目に1分58秒174をマーク。トップで予選を終えますが、走路外走行があり、タイムは抹消に。この周以外の計測ラップはなく、まさかの予選不通過となりました。出走嘆願書が受理され、Gr.1 最後尾グリッドからのスタートが確定。結果は残念ですが、ギリギリまで攻めた結果です。なお、予選後に性能調整についての変更があり、GR Supra GT4 EVO2に対する性能調整は若干緩和されています。

チームは最後尾からのジャンプアップを狙い、スタートドライバーにAドライバーの山崎選手を起用。山崎選手がスタートを務めるのは昨年

以来2回目で、混雑を避け、効率よく走ることでロスを最小限に食い止めるのが狙いです。山崎選手は#34 アウディを抜き、9位で1周目を終了。前を走る#21 メルセデスを追います。上位勢はSUPER GTで活躍するトップドライバーばかりですが、大きく遅れることなく周回。9周目には上位の#5GR Supra がペナルティストップを行ったため、8位に浮上します。21周目、追い上げてきた#5GR Supra に抜かれ、再び9位へ。しかし、26周目には#51GR Supra を抜き、チームの期待に応えます。

Aドライバーの乗車義務時間(1時間)をクリアした29周目、山崎選手がピットイン。ST-Zクラスの中では最も早いタイミングです。吉田選手に交代し、給油とタイヤ交換を行ってピットアウト。店舗メカニックがノームスで作業を行っており、9位でコースに復帰します。吉田選手はベストラップを更新しながら力走。さらにライバルがピットに入りはじめたため、吉田選手の順位が上がっていきます。36周目に7位、37周目に6位へ。44周目には前を走る#20 日産Zをパスし、5位に上がります。さらに48周目には#25 日産Z、50周目に#21 メルセデスがピットに入ったため、3位に浮上。前は8秒先を走る#885GR Supraで、吉田選手はみるみるうちにギャップを削り、61周目にパス。66周目にはトップの#26 日産Zが2回目のピットインを行ったため、初めてトップに立ちます。71周目、約1時間半の走行を終えた吉田選手がピットイン。またしても店舗メカニックがタイヤ交換と給油をノームスで行い、服部選手がピットアウトします。

服部選手はトップでコースインしますが、1コーナー手前で#26 日産Zが先行。しかし2台の差はわずかで、服部選手はファステストラップをマークしながら追いかけていきます。服部選手は75周目にピットイン。前日のRace1同様、アンカーの野中選手がもっとも効率よくチェッカーまで走り切るために4周で交代します。野中選手に交代し、満タン給油のみでピットアウト。2位でコースに復帰します。トップの#885GR Supraは最後のピットインを残しており、88周目にトップ交代。89周目には#26 日産Zが2位に上がりますが、チェッカー直前のガス欠でピットに戻り、勝負はここまで。野中選手が#885GR Supraに約14秒差をつけ、トップチェッカーを受けました。最後尾からの逆転優勝はチーム初。スタッフ全員がRace1の反省を活かし、仕切り直しの気持ちで臨んだことで前日のリベンジを果たしました。



## DRIVERS VOICE

## 山崎 学選手

チーム全員でつかみとった勝利だと思います。スタートは慣れていないので緊張しましたが、やることは決まっていた。まわりはみんなプロなので、離れずについていくことを心がけ、あとはチームを信じて走りました。結果的についていけたので良かったです。性能調整のことは気になりますが、コースに出たら関係なし。目一杯攻めようと思っていました。結果が出ない時もファンの方が応援してくれるので、ぼくらは支えられて頑張ることができます。本当にありがとうございました。

## 吉田広樹選手

ぼくの予選タイムが抹消され、最後尾から追いつけることになりました。チームが一番追いつられる作戦を考えてくれて、うまくはまりました。ただ、作戦だけでなく、山崎選手がプロにまじってしっかり走り、メカニックの作業やタイヤ交換もうまくいきました。昨日はいろいろなミスがありましたが、みんなでそれを活かして気を引き締め、やり直したことが結果につながったと思います。まだシーズンは始まったばかりなので、足りない部分をまだまだ突き詰めて、頑張りたいと思います。

## 服部尚貴選手

最後尾スタートだからこそ、できた作戦でした。山崎選手が乗った最初のステイントはプロが乗る時間。本当に大変なのですが、あそこで離されることなく、上位についてくれたから今回の結果があります。メカニックの仕事も完璧。予選時の走路外走行以外はすべてパーフェクトでした。今日は昨日のレース 1 に続く、今シーズンの 2 戦目となりますが、3 位と優勝、2 回の表彰台を獲得することができたので、そういう意味ではいいスタートをきれたと思います。

## 野中誠太選手

全車を抜いて優勝したのは初めてです。ピット回数を考えたら、ぼくらがトップに立てることはわかっていました。マージンもあったので、後ろとの差をコントロールしながら走りました。昨日、追突されたことによる、むち打ちも怖かったのですが、問題なく走ることができました。昨日、メカニックのみなさんが夜遅くまで頑張ってくれたので、この結果は非常に良かったと思います。2 日連続で耐久レースがあると、体にもダメージがあるので、しっかりケアして準備したいと思います。

## ST-Z クラス Race2 決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	115 周
2 位	シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	115 周
3 位	raffinee 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (Z NISMO GT4)	114 周
4 位	TECHNO FIRST R8 LMS GT4 (アウディ R8 LMS GT4)	114 周
5 位	NANIWA DENSO TEAM IMPUL Z (Z NISMO GT4)	114 周
6 位	Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4 (メルセデス AMG GT4)	114 周

出走 10 台 トップ 6 まで

## ST-Z クラス ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	52	埼玉 Green Brave	34
2 位	26	TEAM ZEROONE	32
3 位	885	SHADE RACING	27
4 位	25	TEAM ZEROONE	15
5 位	34	TECHNO FIRST	14
6 位	20	TEAM IMPUL	14

上位 6 位まで

次戦 4 月 26 日~27 日 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

## Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社



株式会社アルシエ



株式会社エイテック



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社西武ライオンズ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社



有限会社 MY CARS



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リバイバルマネジメント



株式会社リビコー